

8 小中学校における不登校児童・生徒への支援の在り方

～多様で適切な支援を探る～

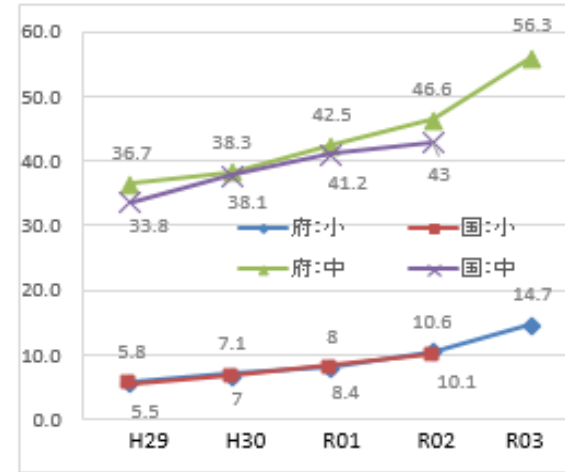
大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課生徒指導グループ

不登校児童・生徒への有効な支援や取組みを探ります！

大阪府の不登校児童・生徒数は全国同様、年々増加し、**その要因・背景や支援ニーズは多岐に渡る傾向**にあります。

本分科会では、小中学校における不登校児童・生徒への多様で適切なアプローチや支援等について、共有化を図ることをねらいとしています。

教育支援センター（適応指導教室）における取組みの実践発表、不登校支援に携わる専門家の講義から、**これからの不登校支援について、学校のヒントとなる取組み**をお伝えします。



実践発表

不登校対策ワーキング委員会より

大阪府では不登校状態及び不登校の兆しのある児童・生徒への、効果的な支援の在り方や取組みについて研究する「不登校対策ワーキング委員会」を設置しています。そこで取り組んできた、【**学校内の居場所づくりの在り方**】や【**民間団体等の連携による多様な支援の在り方**】などの研究成果や取組みについて実践発表します。

講義

スクールソーシャルワーカースーパーバイザーより

国調査では、不登校児童・生徒のうち、約4割が学校内外の相談・指導につながっていないという結果が出ています。「**つながる**」ことが、子どもたちにとって**有効な支援であるために、ソーシャルワーク的な観点から、学校ができること、すべきこと**について、その方法やポイントを明らかにしていきます。



参加者のアンケートより

・それぞれの子ども（家庭）の状況にあった支援をしていく上で、アセスメントの大切さや機関連携、校内体制など事例を通じて学ぶことができ、とても有意義でした。

・SSWの事例報告をもっと聞きたかったです。

・全教職員が同じとまではいかなくても感覚を近づけて取り組んでいけるようにしたい。家庭といかにつながるのが重要なポイントであることを改めて理解した。

・不登校支援の在り方について学ぶとともに、市やSSWの具体的な実践事例を学ぶことができ、自校での支援の方向性や具体的な取組みを考えるきっかけになりました。